

令和5年度第1回大府市認知症地域支援ネットワーク会議
兼 認知症初期集中支援チーム検討委員会 会議録

- 日 時 令和5年7月31日（月）午後1時30分から午後3時まで
 場 所 市役所 202 会議室
 出席者 竹中徳哉、高見雅代、新美恵介、芳賀鉄男、川瀬正枝、齊藤千晶、中隆之、渡辺健司、久野泰弘、服部啓子、横山眞弓、大野正浩、森下明雄、松山靖（敬称略）
 欠席者 尾之内直美、武田章敬、中山知乃（敬称略）
 次第 1 会長・副会長あいさつ
 2 自己紹介
 3 議題
 (1) 令和4年度・令和5年度大府市認知症施策について
 (2) 大府市認知症施策推進計画（第2期）について
 4 認知症初期集中支援チーム検討委員会
 ・令和5年第1回大府市認知症初期集中支援チーム報告書

	内 容（発言要旨）
1 会長・副会長 あいさつ	中会長、竹中副会長よりあいさついただく。
3 議題	事務局より資料に沿って説明。 (1)令和4年度・令和5年度大府市認知症施策について （高齢障がい支援課） ・認知症サポーター養成・フォローアップ、認知症高齢者見守り、認知症カフェ等 ・成年後見制度利用促進事業（福祉総合相談室） （健康増進課） ・健康長寿塾、プラチナ長寿健診
中 会 長 事 務 局	各委員より意見等 高齢障がい支援課と健康増進課で、人が集まらないという困りごとの部分と、プラチナ長寿健診や相談窓口といった入口となっている部分で連携が取れているかと感じている。そのあたりについての説明を事務局より願います。 主に認知症施策全般を高齢障がい支援課が担当しており、特にその中の介護予防に関わる部分を健康増進課で担当している。横の連携が課題であるとは認識している。他の会議等の中で分かったことだが、専門職の方々でさえ、大府市が行っている認知症施策を知らないということがあった。普及啓発に更に力を入れていく。様々な事業を行っていく中で、市役所の中でも認知症の取組は様々な分野に跨って取り組む必要があると思っている。認知症フォローアップ講座等を市職員

中 会 長	全体で広めていき、市職員であればどの分野を切り取っても認知症に優しいまちとして対応できるようにしていきたい。
委 員	資料を読んでいて勿体ないと感じる。様々な施策の指標について、人を集めることが重要なことではなくて、人を集めた時に、目的を持ってそこを達成させるために何をするかについての目標をもつべき。
事 務 局	認知症基本法が成立し、認知症の人の社会参加が大事であるとされているが、全国的に見てもその点が不十分であると感じる。認知症の人の居場所については、認知症カフェやコスモスクラブ等で充実してきていると感じているが、オレンジサポーターを活かした社会参加の部分はどう考えているか、就労的活動支援の取組について教えて欲しい。 認知症ご本人に社会参加をしていっていただくために、オレンジサポーター等にお手伝いしていただくということもあるが、就労的活動支援コーディネーターを社会福祉協議会に配置している。高齢者の社会参加を促すために、有償・無償ボランティアを含めた社会参加を希望する人と、そのような活動に協力していただける企業とのマッチングを行っている。実際にやってみると、高齢者の方の働く条件が色々あったり、コロナウィルス感染拡大の影響もあり非常に難しかった。こういった活動をとおして社会参加を促していきたいと思っているため、認知症ご本人にもぜひ参加していただき、理解のある企業等を広げていき、社会参加の機会を作っていきたい。そこでオレンジサポーターにもお手伝いしていただき、サポーターの方の活躍の場にもしていき、ご本人が自然と社会に出ていける環境を作っていきたいと思っている。
中 事 務 局	マッチングするために企業にも行くのか。 企業にも訪問している。国の意図としては高齢者施設等の担い手不足解消も含んでいるが、企業にも訪問している。これまではコロナウィルス感染拡大の影響があり企業訪問も難しかったが、これからは力を入れていきたい。 オレンジサポーターは個別支援の依頼があった際も対応している。ご家族からの要望もあり、外に出られなくなった認知症の方にオレンジサポーターが訪問して関係を築いていっている。まだ外出まではできていないが、引き続き支援していく。ご本人が独り暮らしの男性であった際に、現在オレンジサポーターは女性の割合が多いため、女性のオレンジサポーターでは対応が難しいという事例もある。
	(2)大府市認知症施策推進計画（第2期）について 事務局より資料に沿って説明
中 会 長	計画の問題点、目的、目標が明確にならないと絵に描いた餅になる。課題、方針、そこに具体性、何を以て評価するかを議論する必要がある。そこを怠れば、作っただけの計画になってしまう。 介護業界は人材の確保に苦慮している。人材確保のための賃上げも含め行政側か

事務局	<p>らアプローチし、できれば計画の内容に加えて欲しい。</p> <p>評価指標については検討する。介護保険の給付のしくみから賃上げは難しい。知多北部広域連合次期介護保険事業計画策定委員会でも人材確保は大きな議題となっている。その結果を受け介護保険の人材確保に加える形で、市でも何か行いたい。</p>
5 認知症初期集中支援チーム検討委員会	<p>事務局から資料に沿って説明（大府市高齢者相談支援センター）</p> <p>令和5年度第1回大府市認知症初期集中支援チーム報告書</p> <p>チーム員、活動・役割、検討件数の推移、終結時の状況、支援の状況、活動実績まとめ及び令和5年度の取組について説明。</p>
竹中副会長	<p>高齢者人口の増加に伴い認知症の人も増え、対象となり得るケースが増加しているため、ケース検討会議にて対象を見極めることは良い。訪問しないと実態はわからない。チーム員は大変だがよくやっている。</p>
中事務局長	<p>訪問してみて困難ケースということはあるか。</p>
中事務局長	<p>その場合は一旦持ち帰り、ケース選定会議に図り検討する。初期中で対応するより地域ケア会議で協議するケースである等と判断されることがある。</p>
中委	<p>全体を通して、特に認知症の人の就労に対して意見はないか。</p>
中事務局長	<p>社内の就労者には認知症の報告はなく体制もないが高齢化が進んでいることは実感している。</p>
中事務局長	<p>行方不明についてはどうか。</p>
中事務局長	<p>行方不明の件数は増えていると思われるが、早く見つかるケースも増加。ひとり暮らしの増加により、行方不明が発生しているのかもわからない現状があり、行方不明の捜索を始めた際、いつからいないのかわからないということがある。</p>
委	<p>ご夫婦ともに認知症という方の場合、成年後見人が必要となります。申立てから受任までどのくらい時間がかかるか。</p>
中事務局長	<p>家族がいる場合、成年後見制度の利用が良いか、家族信託が良いか等の相談や、受任者は誰が良いか等の相談に総合相談室が対応している。市長申立ての場合は申立てまでに、調査等を含めた準備に時間がかかるが、申立てから審判が下るまでに長い時間がかかることはない。</p>
委	<p>名古屋市では権利擁護、成年後見制度利用の際面接までに時間が掛かり困っている。</p>
中事務局長	<p>大府市では受任者調整会議を1か月に1回行うため、申立てをすればその後はスムーズに進んでいく。</p>
委	<p>入院するのに後見人は必要ないため、特にその件で困っていることはない。</p>
委	<p>要介護者のうち認知症者2,200人とあったが、自宅介護の人で、GPSが必要と思われる人は把握できているか。その方々にGPSの補助金について周知できているのか。</p>
中事務局長	<p>ひとり暮らし高齢者は約2,000世帯程度。GPSが必要な方は民生委員さんから情</p>

委員	<p>報提供している。昨年度まではGPS 端末を貸与していたが、持ち歩くことが難しい等からサイズの違うものや靴の中に設置するもの等個人に合ったものを選ぶよう配慮し、今年度からは購入時の費用の補助とした。啓発が必要と把握している。</p>
中 会 長	<p>高齢者世帯や認知症の方が救急搬送され、連絡先等を管理している福祉票から情報提供したことがあった。福祉票の大切さを実感した。</p>
委 員	<p>認知症カフェの登録が増えているようだが、認知症カフェについて何か意見はないか。</p>
委 員	<p>参加者はまんねり化している。認知症の悪化により来られなく人がいる。その後のフォローについてカフェの運営側は何もできず、心配している。</p>
委 員	<p>デイパークではコロナが5類に移行し6月から外出できるようになり、コメダのカフェに参加した。職員が大府市の取組を知る機会になりよかった。今後も認知症カフェに参加したい。</p>
委 員	<p>大府の郷は敷地内のハッピーワンを月1回利用している。他のカフェも利用したい。ハッピーワンはスタッフが高齢化し担い手がおらず困っている。</p>
委 員	<p>コロナ禍前は初期中から認知症カフェを紹介されていたが、最近はされなくなった。</p>
委 員	<p>行方不明が発生した際、市民の協力でみつかることが多い。警察がまだ知らない段階で市民の方に見つけてもらっている。行方不明の方を発見し通報したら、警察が到着するまではその場を離れないで欲しいと協力依頼をしている。</p>
委 員	<p>認知症高齢者と同居していない子どもが多い。認知症の理解は、自分になる、あるいは家族にいないければ現実的ではない。認知症の理解を広げたい。認知症サポーターは、子どもの段階から育てていくことが大切。紙芝居を作ったようだが、アイパッド等で見られるようにして、学校で使えると良い。学校現場にアピールし、朝の10分読み聞かせの時間に活用するとよい。</p>
中 会 長	<p>5年後10年後につながる子どもたちの教育は大切。 ヘルパーの不足が懸念されるがどうか。</p>
委 員	<p>活動しているヘルパーは年々減少。70代のヘルパーが介護の現場に入っている。限りある人数で対応している。 (事務局に進行を戻す)</p>
事務局 猪飼福祉部長	<p>本日いただいた意見を参考にして、地域の支援を進めていく。今後とも協力をお願いします。</p>